

## 第2章 宝塚の現状と課題

武庫川や長尾山・六甲山、そして西谷地域等、多くの自然に囲まれた宝塚で、子どもたちは各学校園で元気に学び、遊び、すくすくと成長しています。また、全国的に活躍している中学校の吹奏楽をはじめ、文化・スポーツクラブにおいてもめざましい活躍をするなど、子どもたちは目標をしっかりと持ち、様々なことに取り組んでいます。

しかしながら、平成15年度（2003年度）には、公立中学校での指導不服従、暴力行為等の問題行動が増加し、一時、教育現場が危機的な状況になる時期がありました。そのため、幼稚園、小学校、中学校の全教職員が危機感を持ち、中学校の再生を目指して、「宝塚市教育再生プロジェクト会議」を立ち上げ、中学校における生徒指導上の現状把握や生徒指導が困難になっていった背景を分析し、家庭教育の大切さ、地域での子どもたちの居場所づくりの推進、幼稚園（保育所）・小学校・中学校の連携の重要性などについて数多くの議論を重ねました。

その結果、「中学校再生についての提言書」が示され、「子どもは学校で育つ」「学校は地域で育つ」という観点を持ち、子どもたちが安全な環境で安心して学ぶことのできる学校園づくりに取り組んできたところです。

一旦は落ち着いた中学校の問題行動ですが、平成20年度（2008年度）から増加の傾向を示しており、なかでも、年間30日以上不登校を理由に欠席したいいわゆる不登校児童生徒数の割合は、平成21年度（2009年度）は2.82%と全国平均の2.89%を下回ってはいるものの、ここ数年、その割合は横ばい状態で、本市における大きな教育課題となっています。

近年、急激な少子化や高齢化により、家庭や地域のあり方が変化し、その機能も大きく変わってきており、学校においては、これまで以上に地域に情報を発信し、地域とともに子どもを育てる体制づくりに努めなければならないと考えます。

また、情報化社会の到来で、どこでも誰でも簡単にパソコンや携帯電話などから多くの情報を得ることができ、手軽に楽しむことができるという便利な反面、出会い系サイトなどを通じて子どもたちがトラブルに巻き込まれるといった危険が増大してきており、本市も例外ではありません。

子どもたちが安全な環境で安心して、そして楽しく元気の出る学習の場としての学校園の実現、すなわち「子どもは学校園で育つ」ことの実現と、学校園・保護者・地域の協働と参画による連携、すなわち、「学校園は地域で育つ」の実現をめざし、確かな目標を持った明確で理解しやすい教育振興のための計画策定と実行が必要となっています。